

## 平成 25 年度主要事業取組概要 文化財課・歴史資料館

### 1 文化財課

#### (1) 史跡鳥坂寺跡関連

国史跡鳥坂寺跡の保存と活用のための整備等について、平成 24 年度に設置した鳥坂寺跡整備検討委員会（委員長・大脇潔近畿大学教授、6 人）で、引き続き研究、検討した。

会議開催＝6.18、10.10、26.2.13 計 3 回

現任委員の任期満了に伴い、同委員会から市教育委員会に対し、同寺跡整備基本計画（案）の第 1 次提言があった。（26.2.13）

#### (2) 史跡高井田横穴特別公開

例年どおり、5 月と 10 月の第 3 土曜日に開催。市民歴史クラブ（長澤星二会長、18 人）と協働で見学者の案内などを実施した。

開催日と見学者数は、次のとおり。

5 月 18 日（土）・189 人

10 月 19 日（土）・93 人

#### (3) 文化財保護関連

##### ① 市指定文化財

市文化財保護審議会（会長・塚口義信堺女子短期大学名誉学長名誉教授、7 人）から、船橋遺跡出土の縄文絵画土器を新たに市指定文化財に指定するよう、答申があった。（26.3.18）

##### ② 文化財説明板の設置

今年度は、次のとおり設置した。いずれも史跡鳥坂寺関連の説明板である。

No.	設置場所	内容	区分	時期
1	高井田第 2 公園内	史跡鳥坂寺跡について	建替え	12.11
2	サンヒル柏原テニスコート横	高井田遺跡について	新設	12.11

今年度の設置で、市内の当課設置の説明板は、計 55 か所（内、鳥坂寺関係の説明板は計 4 か所）となった。

##### ③ 高井田山古墳マルチシェルターの改修（26.2.21～3.31）

経年劣化により透明度が低下していたマルチシェルターの改修（ポリカーボネート板の交換、金属フレームのさび落とし、塗装等）を実施した。

④ 石神社のくす（府天然記念物）の剪定（10.22～10.23）

樹勢を助けるとともに周辺の危険を除去するため、伸長しすぎた石神社のクスノキ（同神社の御神木）の枝葉の剪定について、5月から同クスノキの管理者（宗教法人石神社＝同神社氏子役員）、府文化財保護課等と協議、樹木医の診断も得て、府文化財保護課とともに管理者を指導した。

剪定作業は、同指導の下、管理者において実施された。併せて、管理者に対し、同クスノキの管理計画（案）を提示した。

⑤ 建造物詳細調査（26.2～26.3）

市立堅下南小学校高井田分校の校舎を対象に、現地調査や写真撮影、聞き取り調査等を実施した。

⑥ 開発に伴う発掘調査など

文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）に基づき、今年度は次のとおり実施した。

区 分	慎重工事指示	立会実施	発掘調査実施
件 数	194	11	1

## 2 歴史資料館

### (1) 企画展

今年度は、次のとおり開催した。

① 夏季企画展「難波より京に至る大道を置く」(7.13～9.8)

推古天皇 21 年に設置された「難波大道」の通説に挑み、新たな視点から真のルートを考察した。

② 秋季企画展「大和川のおいたち」(9.24～12.8)

大和川の付替えをメインテーマにした、恒例の展示。主として、大和川の付替えを学習する小学 4 年生を対象としているが、一般の来館者も十分楽しむことができる。今年度は、「約 2 万年前からの大和川の姿や河内平野の変遷」にスポットを当てた。

期間中、学校単位で来館した児童数は、計 112 校・9,395 人に上り、4 年連続で最多記録を更新した。

③ 冬季企画展「ちょっと昔の道具たち ～ハイテクものがたり～」(26.1.7～3.9)

つい最近まで使われていながら、いつのまにか目にしなくなった、「ちょっと昔の道具」を紹介する恒例の展示。「高齢の世代には懐かしく、若い世代には珍しい」展示を心がけている。主として、小学生を対象としているが、一般の見学も自由。今年度は、現在でも斬新なアイデアに満ちた「ハイテク」道具の数々を展示した。

期間中、学校単位で来館した児童数は、計 10 校・637 人だった。

④ 春季企画展「柏原偉人伝 武田慎治郎」(26.3.29～6.15)

市内高井田で児童福祉、社会事業の実践に尽力した、武田塾の創始者・武田慎治郎を紹介する展示。児童養護施設・武田塾の協力も得て開催。

### (2) 特集展示

昨年度（平成 24 年度）末から常設展示場の一面に特集展示コーナーを設置。数か月ごとにテーマを変えて特集展示している。今年度は、次のとおり展示した。

「智識寺伽藍」(25.3.26～8.25)

「天誅組・新選組と柏原」(8.27～12.28)

「午、馬、ウマ」(26.1.5～4.6)

### (3) スポット展示

市民等から寄贈された民具等を「こんなものをいただきました」として、寄贈の紹介を兼ねて展示している。併せて、市内で行われた発掘調査の速報展も適宜、実施している。おおむね 2 か月ごとに展示替え。今年度の展示（紹介）は、次のとおり。

「段飾り雛人形」3 月～4 月

「中甚兵衛像のひな形と紙製鯉のぼり」5 月～6 月

「大県遺跡発掘調査速報展」(大阪府文化財保護課と共催) (6.28～8.24)

「昔の暮らしにタイムスリップ」(博物館実習生製作) 9月～10月

「竿秤、焼印用饅 等」(職業体験学習生製作) 11月～12月

「大和名所図会 等」 1月～2月

「御殿雛」 3月～4月

#### (4) 普及啓発活動(各種講座、講演会等)

##### ① 文化財講演会

企画展に関連して開催した。定員は、各日とも90人。受講無料。

「万葉集と河内大橋」(5.12)

「難波より京に至る大道を置く」(7.20、7.27)

##### ② 市民歴史大学

今年度は、「万葉人の時代」を統一テーマに開催した。定員は、各回とも100人。受講無料。

第1回「万葉集の聖徳太子」(8.17)

第2回「ことばの深みへ 一人麻呂の表現とその工夫」(9.7)

第3回「大伴家持の万葉空間」(26.1.18)

第4回「高橋虫麻呂 歌の魅力」(26.2.8)

##### ③ 文化財講座

一般市民を対象に毎年度開講している。講座と見学会。全12回。受講料は年間1人2,000円で、定員は60人。今年度は、「万葉集と古道」をテーマに開講した。

##### ④ 古文書講座

一般市民を対象に毎年度開講している。市内関連の古文書を教材に古文書を読み解く講座。全10回。受講料は年間1人1,000円で、定員は25人。他市の市民も受講できる。

##### ⑤ 体験教室

小学4年生以上を対象に毎年度実施している。参加無料。

「しめなわを作ろう」定員30人。(12.1)

「わらぞうりを作ろう」定員15人。(26.2.2)

#### (5) 出張展示

昨年度に引き続き、大阪府立中央図書館で出張展示した。市民歴史クラブ(長澤星二会長、18人)との共同主催。府立中央図書館が共催。今年度のテーマは「智識寺と河内大橋」。(8.27～9.8)

期間中、「智識の造った寺と橋」をテーマに講演会も開催した(講師=当館館長)。(9.1)

## (6) 研修生等の受入

### ① 博物館実習

今年度は、大阪教育大学、近畿大学、武庫川女子大学の3大学から計6人を実習生として受け入れた。(8.20～8.25)

### ② 職業体験学習

今年度は、計3校から計5人を受け入れた。

柏原市立堅上中学校 (1人) (10.23～10.25)

柏原市立玉手中学校 (3人) (11.6～11.8)

八尾市立南高安中学校 (1人) (11.14～11.15)

## (7) ミュージアム・グッズ

昨年度(平成24年度)作成のクリアファイルに引き続き、ミュージアム・グッズ第2弾として、史跡高井田横穴の線刻壁画をモチーフにしたストラップタイプ缶バッジを作成した。希望者を対象に販売。5種類作成。1個150円。(11.16～)

## (8) 来館者プレゼント

- ① 5月18日の国際博物館の日を記念して、当日の来館者に「文化財ガイド」シリーズの5冊セットを無料プレゼントした。
- ② 11月16日と17日の2日間、関西文化の日を記念して、各日の来館者にストラップタイプ缶バッジ(1人につき1個)を無料プレゼントした。

## (9) 入館者数等

歴史資料館と柏陽庵の今年度の入館者数等は、次のとおりである。

歴史資料館入館者数 計17,853人

柏陽庵利用者数 計2,166人

### 3 文化財課・歴史資料館 共通

#### (1) 学術連携・交流等

① クロアチアの土木防災関係研究者ら来館 (4.23)

土砂災害対策等の視察のため、JICA（独立行政法人・国際協力機構）の招きで来日していたクロアチアの大学教授6人が来館。来日を機会に日本の地域の歴史も学びたいとの希望による。大和川の付替えやワイン醸造関係の展示に関心を示す。国土交通省大和川河川事務所の担当者のほか、クロアチアの教授らと研究協力関係にある新潟大学教授も同行して来館。

② 関西福祉科学大学学外体験講義 (5.18)

5月の高井田横穴特別公開当日、関西福祉科学大学（江端源治学長、旭ヶ丘3）の「総合教養Ⅰ－河内学－」の学外体験講義が開講（講師＝当館館長）され、同講義受講の学生ら約50人が歴史資料館で講義を受けた後、横穴を見学した。

③ 公州大学校（韓国）で講演(6.24～6.26)

当館館長が、韓国の公州大学校で開催された講演会「5～6世紀、東アジアにおける百済と倭」で、「畿内初期横穴式石室にみる百済の影響」をテーマに講演、韓国の研修者らと討論。同講演会には、大阪国際大学教授も参加。公州大学校の招きによる。

④ 大阪教育大学夏季集中講義開講 (8.6)

大阪教育大学（長尾彰夫学長、旭ヶ丘4）の夏季集中講義「博物館経営論」が、昨年に引き続き歴史資料館で開講（講師＝当館館長）され、学生ら12人が受講した。

⑤ 韓国の考古学関係研究者ら来館 (8.22)

古代日韓の文化交流研究のため、韓国の大学教授、大学院生ら計10人が来館。市内の遺跡も見学。

#### (2) 出前講座

① 「地域のあゆみ（国分の歴史について）」＝国分東コミュニティ会館で、国分東地区のふれあいサロン参加者60人を対象に実施。(7.7)

② 「ちょっと昔の道具たち」＝回想法的手法による出前講座を同市古町3の介護老人保健施設・知恵の和苑（天方義邦施設長）で実施。同苑入所者ら約30人とデイサービス利用者約30人の計約60人が受講。(11.13)

#### (3) 刊行物

今年度発行の刊行物は、次のとおりである。

① 企画展図録「難波より京に至る大道を置く」 (7.13 発行)

A4判、本文28ページ、700部発行。関係機関に配付したほか、希望者に1部300円で実費頒布。

- ② 「ゴンドラ」 No.10 (8.9 発行)  
 歴史資料館のミニ情報誌。A4判、4ページ、3,000部発行。無料配布。
- ③ 「館報」 No.25 (2012年版) (8.30 発行)  
 1か年度の業務概要等をまとめた冊子。A4判、本文84ページ、450部発行。  
 関係機関に配付したほか、希望者に1部400円で実費頒布。
- ④ 「南西尾家文書目録Ⅰ」 柏原市古文書調査報告書第九集 (26.3.20 発行)  
 国分の南西尾家が所蔵する古文書の調査報告。A4判、本文88ページ、400部発行。希望者に1部600円で実費頒布。
- ⑤ 「柏原市の文化財(指定文化財、登録文化財編)」 (26.3.31 発行)  
 国、府、市の指定文化財、登録文化財等を網羅した冊子。A4判、本文56ページ、600部発行。関係機関に送付したほか、希望者に1部500円で実費頒布。

#### (4) ニュース提供

郷土の歴史や文化財課・歴史資料館の活動をPRするため、公式ホームページへの掲載や報道機関へのニュース提供等を積極的に実施している。

昨年度と今年度、提供したニュースの本数、これらが新聞等に掲載、テレビ等で放送された延べ件数は、次のとおりである。

年 度	提供本数 (本)	掲載等 (延べ) (件)	説 明
平成 24 年度	6 2	6 7	確定数
平成 25 年度	4 1	5 1	平成 26 年 2 月末現在